

新潟県立植物園 2022年12月、2023年1月

# 温室みどころマップ

本格的な冬到来。温室には色鮮やかな植物が皆さまをお迎えます。  
12月1日で当園は24歳。25年目も花と緑の情報を発信していきます！

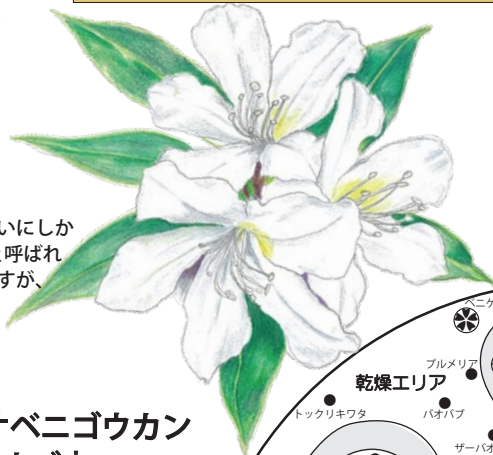


ストロビランテス・アニソフィラス  
(キツネノマゴ科)

## ① セイシカ

【聖紫花】(ツツジ科)

日本では沖縄本島以南の山奥や溪流沿いにしか自生しないため「幻の花(ツツジ)」と呼ばれます。通常、花が紫色や薄ピンク色ですが、当園には白花もあります。



## ② オオベニゴウカン 「アルバ」(マメ科)

筒状の花が集まって開花します。線状に長く放射状に伸びているのは雄しべ。その先端には花粉の入った葯がついています。「アルバ」はラテン語で「白」という意味です。向かいには赤花のオオベニゴウカンもあります。



## ③ カイドウツバキ

【海棠椿】(ツバキ科)

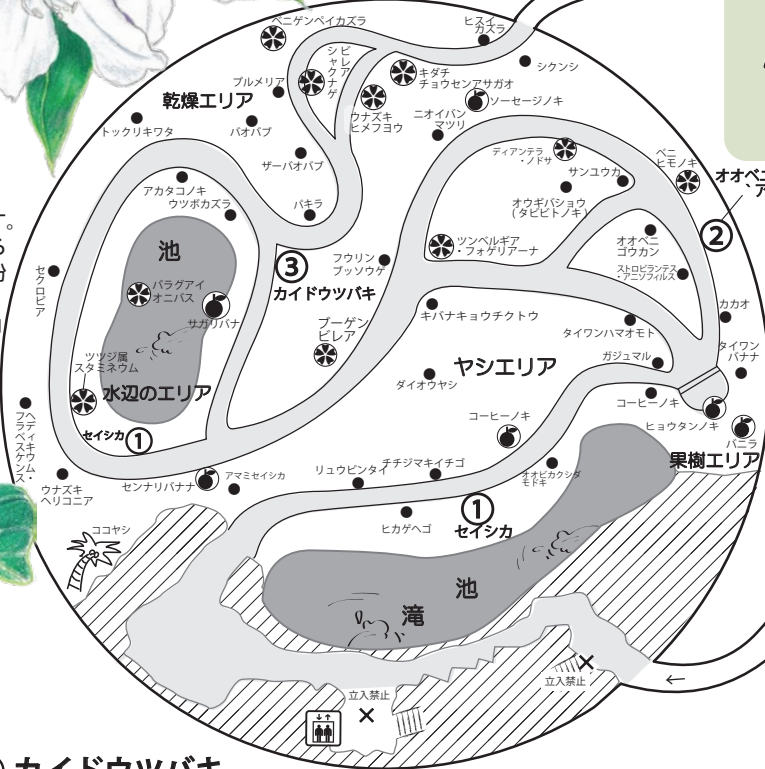
ベトナム原産のため「ベトナム椿」とも呼ばれ、旧正月のお祝いに用いられます。ベトナムのグエン王朝時代(1802～1945年)では門外不出の特別な花でした。花卉は厚みがあり濃い桃色。まるで和菓子のような花です。



## 第1室

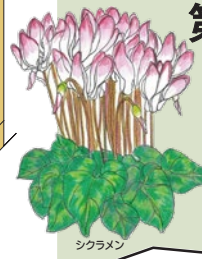
(熱帯植物ドーム)

- 花が咲いています
- 実がついています



## 第2室

植物の魅力を紹介する企画展示を開催。大人気の水中庭園では多様な水草を展示。



シクラメン

「クリスマス展」11月23日(水・祝)～12月26日(月)

色鮮やかなポインセチアとシクラメン、コニファーなどの植物、光とカラフルな装飾に彩られた植物園のクリスマス展をお楽しみいただけます。

ポインセチア



## 「新春展」

2023年1月4日(水)～1月29日(日)

冬の間も緑色を落とさない常緑樹や、赤い実をつけている植物は昔から縁起の良いものとしてお正月に飾られてきました。新年に欠かせない松竹梅と正月飾りと共に、一両・十両・百両・千両・万両と呼ばれる植物の展示を行います。明るい雰囲気の新YEARガーデン。新春幕開けに相応しい植物展示です。



十両  
(ヤブコウジ)



百両  
(カラタチバナ)



センリョウ

## 第2室

(企画展示)

## 第3室

『作品展示』では植物に関連した活動を行っている団体や個人の作品を展示。体験教室や「おやこ植物園」はこちらの温室です。

### おやこ植物園

植物の観察、工作などを体験するエリアです。

対象：小学生以下のお子様とその保護者の方  
開館日時：温室開館日と同じ  
(ホームページをご確認ください)  
①午前10時～午後12時  
②午後1時～午後3時  
体験料：体験内容により異なります

参加方法：  
当日温室入館券売り場でお申し込みください。  
受付時間は午前9時30分～午後2時30分  
※混雑時は入場制限する場合がございます。  
※ご不明な点はお問い合わせください。

### 作品展示

「いやしのハワイアンキルト」(クッションやタペストリー、小物など季節感のある作品)  
11月29日(火)～12月26日(月) Hawaiian quilt studio chikuchiku

「キラキラもふもふ展」(砂絵、羊毛フェルト、ディンブルアート)  
1月4日(水)～1月22日(日) キラキラもふもふの住人たち

「イロの記録～続 sister's garden」(四季の植物を展示)  
1月24日(火)～2月12日(日)  
ごんだいらあやこ しばいひろこ

### 体験教室開催

『ポタニカルキャンドルづくり』  
～イロの記録期間中WS～  
(材料無くなり次第終了)  
日時：1月29日(日) 13時～15時  
料金：1,500円  
会場：第3室2階(有料エリア)